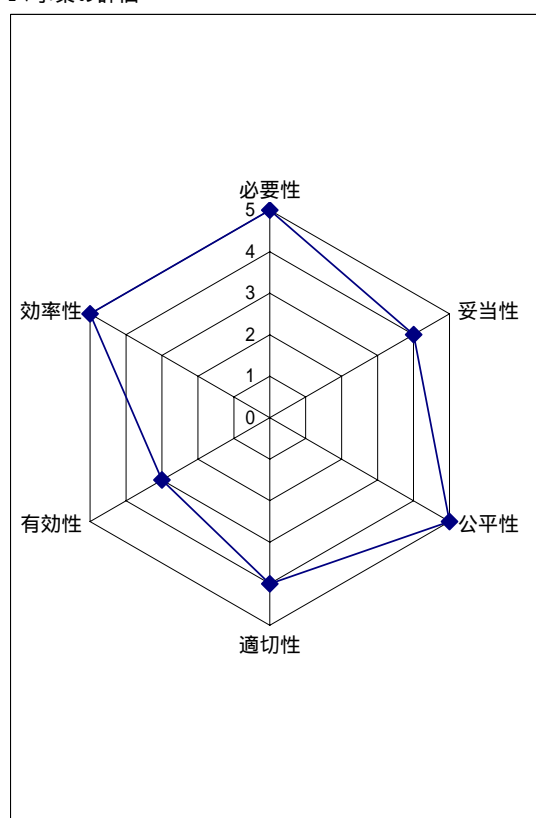


事務事業名	公園施設改修事業	担当部局	市長部局 都市建設部
基本目標	美しいゆとりある快適環境と景観づくり(環境・都市基盤)	担当課名	都市計画課
施策体系	その他	担当係名	公園緑花係
施策	その他		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	公園施設を良好な状態に保ち、公園利用者の安全を確保する為に、施設の経年劣化等による破損を改修する事。		
事業の期間(開始/終了)	平成16年	4月/	99年99月
根拠法令、条例、規則など	都市公園法		
	都市公園の設置及び管理に関する条例		
	都市公園の設置及び管理に関する条例施行規則		
事業が対象としている人(モノ)	公園利用者		
具体的な活動内容	公園をパトロールし、破損している施設を発見する。		
	公園利用者からの施設破損の報告や、改修要望を把握する。		
	公園施設は損の危険度や、改修要望の優先順位を決定する。		
	優先順位の高い順に予算額に応じて改修を行う。		
事業の成果	公園利用者からの改修要望に応える。		
	公園施設を改修する事により、利用者の事故を防止する。		
	公園施設改修による、利用者の利便性の向上。		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	5 ますます必要性は高くなっている 公園を取り巻く環境は、年々厳しくなっている。管理者責任の追及に重きがおかれている現在、これらの改修の重要性は、高いものであると考える。限りある予算を有効に活用し、市内61箇所ある公園を良好な状態にしておくために、改修優先順位を作成し、それにそって計画的に事業をするために、
	4 法的な問題などがあり、行政が行うべき事業である 公園は市が管理している財産である為、行政による改修事業の遂行が適切であると考え。しかしながら、国で進めている指定管理者制度による民間委託という手法もあることから、多角的に判断できる案件になりつつあると考える。
公平性	5 広い範囲に対して便益を提供しており、偏りは見られない 公園は利用者には制限を設けていない。そのため、それらの施設を改修する事については、受益者が特定の個人や団体に偏るとは考えにくい。
	4 現在のやり方(手段)が一般的であり、特に問題はない 公園施設改修事業を適切に行うために、公園のパトロールの実施、利用者からの要望を受けて、優先順位を基に、年次計画で執行している為、手段は適切であると考え。
有効性	3 どちらとも言えない 年々要改修箇所が増加してきている。優先順位を決め、計画的に行う努力はしているものの、緊急対応などに予算を割かねばならないのが現状である。
	5 効率は相当高められている(相当なコスト低減が図られている) 公園施設改修の優先順位を作成し、限られた予算の中で設計額をスリム化し、優先順位の高い順に改修を年度ごとに数多く行うための努力をしている。

総合評価	年々要改修箇所は増加してきている。管理者責任が問われている現在、本事業の必要性はますます高くなっていると考える。
------	--

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	0	中長期的方向	維持継続
	説明	年々管理する公園が増えている状況からも、利用者の安全を考慮して速やかに対応していく。			
決定権者判断	決定内容	維持継続			
	説明	快適な公園環境を維持するためには、管理体制などの強化が必要である。			